

新時代の日台関係へ向けて

国立政治大学

2025年9月9日

本日、立憲民主党の同僚議員と共に今年1月に続き再び、台湾を代表する名門校、国立政治大学を訪問することができ大変光栄に存じます。国際関係学院学院長の盧業中教授と李世暉教授のお取り計らいで、私たちの見解をお話しし、皆様と意見交換をする貴重な機会をいただき、心より御礼申し上げます。

私は日本の南西諸島、沖縄本島の近くの鹿児島県・沖永良部島で生まれ育ち、幼少期から台湾を身近に感じてきました。私の選挙区である神奈川県大和市は、第二次世界大戦中に日本の高座海軍工廠で戦闘機製造に従事した台湾少年工と特別な関係を築いてきました。今でも、元少年工による台湾高座会と大和市民との交流は途切れることなく続き、戦後最良とされる今の日台友好の基盤となっています。

世界で戦争や紛争が多発し、「法の支配」に基づく国際秩序が深刻な危機に直面しています。今こそ、台湾と日本の連携を一層強化してアジアと世界の平和を守っていかねばなりません。台湾は日本にとって、民主主義や自由、「法の支配」などの普遍的な価値観を共有する、かけがえのないパートナーです。長きにわたる両国の先人たちの努力により、幅広い分野において民間レベルでの日台交流が着実に展開されてきました。今こそ、この関係を、より高い新しいレベルでの日台の連携へと発展させ、新たな時代を切り拓いていく時です。

昨今、中国による台湾への軍事侵攻のおそれ、いわゆる台湾有事への懸念が高まっています。万が一、台湾海峡で軍事紛争や戦争が発生すれば、それは台湾や中国だけでなく、日本の存立に多大な影響を与え、更には世界全体に計り知れない損害を与えます。だからこそ、中国に軍事行動を思いとどまらせるために、日台の外交と安全保障でのより深く効果的な連携を構築することが不可欠です。

新たな日台連携の具体的なイニシアティブとして、第一に、グローバルな安全保障協力の強化が上げられます。昨年7月、日台の海上保安機関間で海難救助を想定した合同訓練が実施されました。今後はこうした海洋での協力を軍事面も含めた安全保障の領域に広げ、多国間で連携を強化することが重要です。具体的には米国やフィリピン、韓国、豪州、NATOなどとのグローバルな共同訓練を実施し、第一列島線内の安全保障環境を安定させるべきです。

第二に、日台の軍事情報の共有です。自衛隊と台湾軍の間で通信連絡手段を構築し、平時から情報共有を図ることで、有事の際にシームレスな日台連携を実現することができます。より円滑な意思疎通のため、日本台湾交流協会の台北事務所に現役の自衛官の派遣も急ぐべきです。

第三に、自由貿易の拡大です。日本は台湾のCPTPP加盟を強く後押ししています。英国が新たに加盟し、CPTPPは世界全体のGDPの約15%を占める巨大経済圏に成長しました。台湾のCPTPPへの加盟で、保護主義政策を取る米国に代わって日台が世界の自由貿易を推進する旗振り役を担い、世界経済の成長と安定に大きく寄与すべきです。

7月の参議院議員選挙の結果を受け、日本の政局は流動化しています。しかし、日本で政権が交代しても、つまり私たち立憲民主党が政権に就いても日台関係は、安全保障や経済に裾野を広げながら強化されることを目指します。ご安心ください。

最後に、現在開催されている大阪・関西万博では、台湾の最先端のAI・DX技術や自然、文化を体験できるバビリオン「TECH WORLD」が展示されています。2027年には、私の地元・横浜市瀬谷区で最上位クラスの国際園芸博覧会、GREEN×EXPO 2027が開催されます。台湾の方々にも展示していただけるように準備を進めてまいりますので、次は横浜で皆様とお会いできることを楽しみにしております。